

## 三光電業のロボット事業が新展開

### 協働ロボット 設備環境整備

トレーニング設備環境整備

制御と電子の総合商社・三光電業(株) (西区商工センター5-11-7、森脇喜美代社長)は、ロボット事業の新たな展開となる「協働ロボット専用コーチング設備導入による新分野(食料品製造等)開拓」を進める。中小企業庁が公募した「中小企業等事業再構築促進補助金」に採択された事業。

協働ロボットの導入後に必要不可欠なロボット教育作業に関する産業用ロボット特別教育や、ロボット導入に対してスキルを提供



ロボットの常設展示する「ロボットパークひろしま」(南区比治山本町6-5)の2階を改装。世界最大の協働ロボットメーカー「ユニバーサルロボット(UR)」のトレーニングセンターII写真IIを参考に、実習に必要な各種備品を導入し、最大8人にトレーニングを提供できる施設にする。また、将来的にUR認定のトレーニングセンターとして活

する施設としての研修環境を整備する。同社がロボットの常設展示する「ロボットパークひろしま」(南区比治山本町6-5)の2階を改装。世界最大の協働ロボットメーカー「ユニバーサルロボット(UR)」のトレーニングセンターII写真IIを参考に、実習に必要な各種備品を導入し、最大8人にトレーニングを提供できる施設にする。また、将来的にUR認定のトレーニングセンターとして活

動できるように計画。ちなみに三光電業はURの中国地方唯一の代理店で、昨年の販売実績等は最高のゴールドランクに評価されている。

協働ロボットの導入によって業務の効率化やコスト削減、品質安定、生産性向上などの課題を解決できることは多くの企業で実証済。導入後の安全な運用に力点を置いた今回の新たな展開で、今後協働ロボット市場拡大が見込まれる食料品製造業界等の開拓を目指す。

同社のロボット事業は2015年のロボットシステムインテグレーションのために社員をメーカーへ1年間派遣したことに始まる。翌年、修業を終えてエキスパートとなった社員を中心にロボットシステム課を発足。18年に常設展示場「ロボ

ットパークひろしま」を開設し、その後、ロボットシステムインテグレーション研修派遣メンバーは3人になり、19年9月ロボット課を開設した。森脇社長は「ロボットに関する事なら三光電業と認識してもらえようになりたい」と話す。